

新春の集いでの出会いを基に、思い出、現在、未来について、世代を超えて語り合える催しを記念誌と連動して企画しました。

記念誌には、還暦世代から現役生までの幅広い世代に未来について語っていただきました。当日の企画は、還暦世代を中心とした思い出VTR、参加者が一体となり高評価をいただきましたエイサー演舞、浜松西高の制服を着たオリジナルキティ

今回は、浜松西高同窓生の出会いを通じ、未来を輝かせたいと考え『輝く人、友、未来』をテーマに新春の集いを進めさせていただきました。

平成二十五年一月二日、グランドホテル浜松にて、先輩方が築き上げてこられた伝統ある「新春の集い」を盛大に開催出来ましたことを、心よりお礼申し上げます。

代表幹事 新野 正(高45回)

二〇一三年
新春の集い盛大に開催



発行 静岡県立浜松西高等学校同窓会
 発行人 稲垣 訓 宏
 題 字 町 田 晃 集
 編集 同窓会報編集委員会
 浜松市中区西伊場町3番1号
 電話 053-456-0662
 印刷 (有)ケーエス企画
 発行部数 14,700
 浜二中卒業生 2,041名
 浜西高卒業生 23,817名
 (内女子5,098名)
 内24年度卒業生239名(110名)



私達は卒業後二十年目に迎えます幹事年に向け、諸先輩方が若年層の参加を促すべく取り組まれた二会場制で、昨年久しぶりの再会をした同窓生が多数おられます。卒業して以来一度も会っていないなかった同級生や、在学中は一度も話したことが無い同級生とも年齢、立場が変わり新たな出会いとして現在在友になり、共に新春の集いの準備を進めて来しました。

ちゃん手ぬぐいの販売、新春大抽選会を行い、浜松西高等学校の同窓生、現役生の活躍を世代を超えてお伝えすることができ、素晴らしい交流の場であると改めて実感しました。

還暦を迎えられた高二二十三回卒の皆様には多数のご参加、記念誌記事へのご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。また、記念誌の発刊及び新春の集い開催にあたり、広告協賛やチケット購入におきましては、多くの同窓生の皆様のご理解ご協力を賜るとともに、温かい励ましの言葉の数々を頂きましたことを厚くお礼申し上げます。

志

これから、ここから。

新春の集いでの旧友との再会。新たな出会いを機に「当時の志」を思い出し、いくつになっても「志」をもって生きることの大切さを語り合おう。

多数のご参加お待ちしております。

日時：平成26年1月2日(木) 15:00~
 場所：グランドホテル浜松
 会費：8,000円(高46回卒以前)
 5,000円(高47回卒以後)

主催：浜松西高等学校同窓会
 運営：浜松西高第46回(平成6年)卒同窓会幹事会

チケットのお問合せ：070-5448-2782(竹山)
 記念誌広告のお問合せ：070-5039-2614(松本)

静岡県立浜松西高等学校同窓会
2014年 新春の集い

■日時：2014年1月2日(木) START 15:00 ■場所：グランドホテル浜松

【イベントの企画会社】 090-3484-3592(静岡) 090-7027-1535(福岡) 【記念誌広告の企画会社】 080-3355-3059(徳島) 080-3355-3068(松山)

2013年 新春の集い 決算書 (単位:円)

科目	金額	摘要
広告売上	9,795,000	広告協賛企業 468社
チケット売上	5,508,000	チケット販売枚数 723枚
記念品売上	725,000	Helloキティー手ぬぐい販売
雑収入	116,315	祝儀他
預金利息	683	
収入合計	16,144,998	

(単位:円)

科目	金額	摘要
会場費	7,126,168	グランドホテル会場費等
景品費	449,590	当日抽選会の景品
印刷費	3,227,406	記念誌、チケット等
通信費	692,458	携帯電話、葉書等
会議費	1,996,057	幹事会、部会経費等
事務費	87,348	文具等
交際費	366,868	西高フォーラム、総会等参加
渉外費	1,144,080	クライアントとの打合せ他
雑費	141,720	写真代等
その他(記念品販売)	788,965	手ぬぐい製作、販促費用
本会計繰入金	124,338	
支出合計	16,144,998	

以上の通り、ご報告申し上げます。

静岡県立浜松西高等学校

高45回卒 2013年新春の集い幹事会

代表幹事 新野 正
会計 水谷 守孝

上記の通り、正確に処理され適正と認めます。

平成25年3月30日

会計監査 前田 米蔵
会計監査 市川 静子

そして今回のテーマにもあります自分達の未来について考える機会を頂きました。私達には貴重な経験であり、思い出としてこれからも友として交流を重ねたいと思っております。

二〇一四年の新春の集いは、高四十六回卒同窓生が幹事として『志』をテーマに着々と準備が進んでいると聞いております。来年の新春の集いには多くの同窓生が参加され、志を感じられることを期待しております。

最後に、多大なご協力を頂きました同窓生の皆様、浜松西高等学校の未来が『輝』ことを祈念申し上げ、代表幹事の言葉とさせていただきます。



同窓会会長挨拶
「青春のロマン」を咲かせよう



同窓会会長 稲垣訓宏(高12回)

同窓会の諸兄弟の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。いつも同窓会活動にご理解と温かなご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

「自分の輝きをさらに増し、友と明るく輝く未来を作ろう」とのコンセプトで、今年も約八百名の西高同窓生諸兄弟が「新春の集い」に集まり、旧交を温め、次へのエネルギーを養う熱気に満ちたすばらしい集いとなりました。改めて幹事の皆様方、および多大なご協力を戴いた同窓生の皆様方に心からお礼を申し上げます。

今年四月のはじめ、俳優 岩城隼一さん61才が芸能人としてはじめて宇宙旅行に挑戦するとの衝撃的な発表があり、「オレも「地球は青かった」って言いたいね」と白い歯をのぞかせていたこのことです。世界最初の有人宇宙飛行がガガーリンによって

成し遂げられた1961年は、岩城さんが10才のときで強烈な印象を受け、自分もいつかは宇宙旅行に挑戦したいとずっと温めていたようです。この宇宙旅行には、4Gを越える過酷な身体負荷がかかるそうですが、この不安を乗り越えて「青春のロマン」を咲かせようとしています。元氣のお話で、私たちも「青春のロマン」を咲かせようではありませんか。

来年2014年一月二日の「新春の集い」は、まさに「青春のロマン」を咲かせるトリガーです。どうぞ西高同窓生諸兄弟の皆様、新年の初めにまずは「新春の集い」にご参加され、青春時代の英気を養っていただきたいと願っております。今後とも諸兄弟の皆様にはどうぞご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

校長先生挨拶



校長 木村 功

同窓生の皆様には、日ごろよ

り本校の教育活動に御理解と御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。お陰様で、六学年、千二百人余りの生徒が、学業はもとより、部活動や学校行事など、充実した学校生活に日々意欲的に取り組んでいます。特に、六月の文化祭「彩西祭」に注ぐ生徒たちの熱いエネルギーには目を瞠らされます。今年のテーマは「原点復帰」。「西高生・同中等部生の0（原点）と次の1」をそれぞれ独自の切り口で表現し、御来場の皆様から高い評価をいただきました。

「原点」といえば、在校生だけでなく、同窓生の皆様の中にも、数十年ぶりで「西高の原点」を再確認された方々がいます。日本がサンフランシスコ講和条約に調印し、主権回復を果たした一九五一年。当時の本校校長伊藤新七郎先生の訓話に込める形で、全校生徒が日本の新たな岐路への思いを書き綴った作文が「講和記念文集」として本校図書館にすべて保管されていたのです。当時の西高生の皆さんにとって、まさに奇跡のタイムカプセルと言えるでしょう。もちろん、思いの表し方は人それぞれですが、青インクの万年筆で丁寧に書かれたいずれの文章からも、これからの日本の針路への期待と決意が、高揚感と適度な緊張

感を伴って伝わってきます。

例えば、ある作文は「日本国民とりわけ若い我々は世界を知り、人類の和平に貢献するような大事を知り、世界のよりよき和合に役立ちたい。今ここにこうした希望を実行する時が来たのである。」という書き出しで始まっています。「国際社会においてリーダーとして輝く人材の育成」を教育目標に掲げる本校にとって、時間を超えて届けられる先輩のメッセージは大変心強く、生徒たちにも自信を与えてくれるものと思います。

本校はこれからも、生徒の社会的な視野の拡大に留意しつつ、教育内容の一層の充実と質の向上を目指していきます。同窓生の皆様には、母校の後輩たちの頑張りには御注目いただき、御声援を送っていただければ幸いです。



平成二十五年度総会報告

六月二十九日(土)午後三時より、浜松西高同窓会館会議室にて、平成二十五年度同窓会総会が開催され、六十四名の会員の出席を得た。稲垣訓宏同窓会長、木村功名岩倉会長(校長)の挨拶に続き、今年度の議事について協議がなされた。

◇議事

- (一) 平成二十四年度事業報告
- (二) 平成二十四年度決算報告、及び同監査報告
- (三) 「二〇一三年 新春の集い」事業報告、決算報告、及び同監査報告
- (四) 役員交代
- (五) 平成二十五年度事業計画(案)
- (六) 平成二十五年度予算(案)
- (七) 「二〇一四年 新春の集い」事業計画
- (八) 役員選考会の設置について

◇報告事項

- (一) 同窓会の今後のスケジュール
- (二) 甲子園出場記念基金について

◆役員交代

第四号議案にて、年度替わりに伴い、新春の集い幹事二名による副会長が高四十五回から高四十六回へ交代することが発表され、高四十六回藤田薫・原野扶有美新役員の名が紹介された。また、会報編集長を岩淵千江副会長が兼任することも併せて発表された。



◆平成二十五年度事業計画

第五号議案にて、会報の発行、同窓会ホームページのシステム変更について、会員名簿の発行の準備、新春の集いの開催、記念講演会の開催、激励賞授与、語学研修の援助、西山賞の授与等、新年度の事業計画について説明がなされ、審議の結果承認された。

◆「二〇一四年 新春の集い」事業計画

藤田代表幹事ら高四十六回卒業生会のメンバーによる挨拶に続き、テーマ「志」これから、こ

こから。」に込められた思いについて説明がなされ、来年一月二日の開催に向け、このテーマに基づいた事業計画が発表された。

◆記念文集発見の報告

高四、五、六回卒の在学中にまとめられた、「サンフランシスコ講和条約の記念文集」について、報告がなされた。この文集は、旧校舍全焼の際、焼け残った図書館のロッカーから奇跡的に発見され、新図書館にて大事に保管されていたということである。条約公布から六十年の時を経た今回の総会において、その記念文集の実物も披露され、総会出席者から感嘆の声が上がった。



平成24年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計決算書

収入総額 13,205,831 円
 支出総額 3,860,286 円
 差引残額 9,345,545 円

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	備 考
繰 越 金	8,412,268	8,412,268	0	前年度繰越金
入 会 金	3,600,000	3,585,000	△15,000	高校65回卒業生239名
基金利子配分金	2,700	2,700	0	甲子園出場記念基金利子配分金
繰 入 金	700,000	124,338	△575,662	新春の集い剰余金
雑 収 入	20,000	41,525	21,525	預金利子、同窓会名簿代等
エアコン設備使用料	1,040,000	1,040,000	0	後援会より23年度から12年間回収
合 計	13,774,968	13,205,831	△569,137	

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	備 考
1 事務費	700,000	559,443	165,857	
事務局費	400,000	397,616	2,384	事務局職員給与等
需用費	300,000	136,527	163,473	事務局改修費、複写機リース料等
2 会議費	600,000	317,967	282,033	
総会費	400,000	221,997	178,003	総会会議費
役員会費	200,000	95,970	104,030	役員会会議費
3 事業費	4,000,000	2,982,876	991,824	
会報費	2,500,000	2,303,857	196,143	ホームページ運営費、会報印刷代・送料、会報編集委員会運営費等
助成費	1,500,000	704,319	795,681	慰霊祭、激励費、海外研修援助費、西山賞、講演会謝礼等
4 予備費	8,474,968	0	8,474,968	
合 計	13,774,968	3,860,286	9,914,682	

平成25年5月16日
 以上のとおり報告します。

静岡県立浜松西高等学校同窓会 会長 稲垣 訓 宏
 会計 鈴木 敏 勝

上記の決算について証拠書類、出納簿を精査したところ、適正かつ正確であることを認めます。

平成25年5月22日 会計監査 前田米蔵印 会計監査 市川静子印

平成25年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計予算書

収入総額 14,507,945 円
 支出総額 14,507,945 円
 差引残額 0 円

収入の部

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
繰 越 金	9,345,545	8,412,268	933,277	前年度繰越金
入 会 金	3,600,000	3,600,000	0	高校66回卒業生240名
基金利子配分金	2,400	2,700	△300	甲子園出場記念基金利子配分金
繰 入 金	500,000	700,000	△200,000	新春の集い剰余金
雑 収 入	20,000	20,000	0	預金利子、同窓会名簿代等
エアコン設備使用料	1,040,000	1,040,000	0	後援会より23年度から12年間回収
合 計	14,507,945	13,774,968	732,977	

支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 事務費	700,000	700,000	0	
事務局費	400,000	400,000	0	事務局職員給与、事務局維持費等
需用費	300,000	300,000	0	複写機リース料等
2 会議費	600,000	600,000	0	
総会費	400,000	400,000	0	総会会議費
役員会費	200,000	200,000	0	役員会会議費
3 事業費	4,300,000	4,000,000	300,000	
会報費	2,800,000	2,500,000	300,000	ホームページ運営費、会報印刷代・送料、会報編集委員会運営費等
助成費	1,500,000	1,500,000	0	慰霊祭、激励費、海外研修援助費、西山賞、講演会謝礼等
4 予備費	8,907,945	8,474,968	432,977	
合 計	14,507,945	13,774,968	732,977	

※科目間の流用を認める

高4回卒業60年目の同級会

「私達浜松西高校四回卒は、昭和二十七年に卒業した仲間です。当時巷では、美空ひばりの「お祭りマンボ」の流行歌が、又ラジオ歌謡で清水みのる作詞の「森の水車」の歌が、流行っていた時代でした。あれから六十年の歳月が流れ去り今憶うと大変感慨深いものがある昨今です。(中略)皆と会って久闊の情を温め合おう。」と卒業六十年の節目となる平成二十四年十月十七日に同級会を開催した。卒業時か



ら三度の変遷を経た母校西山台に集まり、中・高一貫教育等新しい学校の現況を桜井副校長から説明を受け、次に生徒並みに三班に分かれて副校長・辻村先生(高34回)・福島先生(高38回)と三人の先生引率のもと校内を一週皆それぞれ思い出の残る場所が弾み、老骨から一転学生気分になり立ち返り、最後に慰霊碑を参拝して名残惜しみながら、懇親会場へと移動した。母校見学者三十五名。会場直接十五名。関東・北陸から又卒業女子五名の内一人の参加もあり、合計五十名の同級会となった。

会場は、浜松駅前のホテルクラウンパレス浜松。写真担当の青山多恵による記念写真撮影。幹事代表の今村昭八が開会の挨拶、物故者へ黙祷を捧げ、石黒進指導による校歌斉唱、鈴木孝次による乾杯で会が始まり、寿山隆久が各人の近況や思い出をインタビュー・歓談とあわせて語り尽くせない時を過ごし、今後のこの会について高部貞から提案があり、宮田信周の閉会の挨拶で二時間の幕を降ろした。

今村 昭八(高4回)

卒業六十年西山台を訪れて思う

私達は昭和二十一年三月旧制浜松第二中学校最後の入試の難関を突破して西山台に登りました。学制改革で併設第二中学校(この間二年間新入生ナシ)に、その後西高校へと中高一貫教育で六年間を級友や長期在任の先生方と共に過ごし、西山台には思い出ひとしおです。卒業は昭和二十七年で七クラス二百九十

思い出の場所の一つに校庭西側の土手があります。今は松が大きく茂り立ち入ることもできませんが、当時はむき出しの赤土で眺望が良く、休み時間には仲間がたむろし、遠くに水平線を望みながら将来の理想を語ったり、良からぬ相談をしたりした場所です。

二つ目はプールです。二十五メートルで飛込台がついていました。あるとききれいな緑色に消毒された水で泳いだことがありません。誰かが叫んだ「硫酸銅だ！」本当かな？目はチカチカ。鼻はツンツン、それでも泳いだ、六尺フンドシで。同級生の倉橋範彦君は背泳でオリンピックに出場しました。栄光の二十五メートルプール。

三つ目は「捨松」のことです。当時は戦後の燃料難の時代で、校庭の松などはすべてストーブの薪となり、学校周辺の眺めはそれは見事にあっさりしてしましました。園芸部担当の三輪先生が松の苗木を植えようと何故か図書クラブに協力を求めてきました。東側と一部北側の斜面に植えた記憶が残っています。六月でした。「六月の松は放つといてもつく」だから捨松とも言うて教わりました。捨松のごとく遅く生きることを。

最後に最高の思い出や宝物について伝えたいと思います。「講和成立に当たって」書いた作文が、四百字詰原稿用紙そのまま立派に製本され図書館に保管されているのです。昭和二十六年三年生の時サンフランシスコ講和条約が締結され、大東亜戦争が正式に終結しました。それを記念して在校生全員に原稿用

紙四枚が渡され「講和成立に当たって」の作文を書かされました。それが残っているのです。事前打合せに学校を訪れた時、図書室で司書の先生から「四回生の作文が製本され残っています」と言われた時はもうびっくりに。六十年前の原稿用紙の自分の字を見て熱いものがこみあげてきました。全面講和か、単独講和か、領土問題は、いよいよ敗戦四島国か、いずれも今日のテーマとして残っているではありませんか。保存していただいた先生方と学校に心から感謝申し上げます。四・五・六回生の三学年分があります。図書室を訪れ自分の作文を是非確認して下さい。四回生も八十歳を迎え終戦直後の新しい学校制度で育った者として、学校訪問を機に新鮮な思いを友とわかち、自分達の時代をさらに開拓したいと思っております。

寿山 隆久(高4回)

高10回卒業55周年記念同窓会

平成二十五年四月七日(日)高十回卒の同窓会をホテルオークラにて開催した。三年ぶりの同窓会で参加者は恩師の先生三名を含め七十四名だった。まず、全員で記念写真を撮り、宮崎澄君指揮のハーモニカバンド(曲は高校三年生)ののって全員入場し、校歌斉唱を行い、この三年の間に亡くなられた十二名の方の冥福を祈り、黙祷した。水野克弘君の司会でスタートし、代表挨拶は、相曾明夫君が欠席(二日前のアクシデントで動



けず)の為、白柳俊司が急遽代理挨拶をした。そして恩師の先生方(河合九平、伊藤久雄、上山一雄)から力強い、心にしみる挨拶を戴き、あらためて五十五年前の高校時代が懐かしく思い出された。当日の紅一点黒田榎子さんの乾杯のご発声で、いっきに会は盛りあがっていった。クラス別のテーブルでは、思い出話や、互いの近況報告で話はずきないようだった。会は進み、余興として石神孝治君による、正調安来節「男踊り」が披露されて、一同彼の多趣味と多芸にあらためて感服した。

会はますます盛りあがっていき、その後、影山浩三君のリードで応援歌を歌い、山本治男君による一本ノ閉会の挨拶でひとまず、一次会を終了した。

場所を代えて引き続き、五十余名の参加者で二次会が開かれ、高部守弘、石神孝治君両名の司会進行でカラオケを歌いまくり、最後は全員で腕を組んでの大合唱をして、二次会をお開きとした。

高校時代を皆で懐かしく思う楽しい会も、あつという間に終わってしまい、次回三年後の「喜寿の祝い」での再会を約し、三三五五家路に向かった。

白柳 俊司(高10回)

高校3回卒の同窓会

三年ごと一回催されている高校三回卒業生の同窓会が、平成二十四年十月二十一日(日)に、現木村校長先生・児玉二郎恩師・伊藤久雄恩師の三名のご来駕を賜り、ホテルコンコルドで開かれました。

前回は喜寿、今回は傘寿の節目の年となりましたが、一部のご家族の方々の要望により(夜、帰りが遅くなると心配するとの理由)前回同様昼間の開催となりました。後期高齢者の集団?になるのでは...と心配したのは僅か二、三分で、すぐに「やあーい」「なんだあ」「馬鹿!元気でいたか?」と学生服を着れば十八歳の昔に返って六年間(今で言う中・高一貫をすでに経験いたしております)少人数



での長い付き合いの良さを満喫いたしました。

連絡の近況欄では「血圧が高くて...」「糖尿病気味で...」とか老人ぶっていた者に同窓会は若返りの妙薬なのか?ワイ・ワイ・ガヤガヤと六十年前の少年になり、楽しい一時を過ごしました。

私が日頃想っている夢を申しますと、米寿の翌年、児玉先生が白寿、伊藤先生が九十五歳の同窓会が実現したら嬉しいなあ。先生!同窓生諸兄!くれぐれもお体に気をつけ、ご健勝にてお過ごしの上、その折には是非ご出席を賜ります様ご期待いたしております。

小松沢 重信(高3回)

第九回同窓会講演会

平成24年11月19日創立記念日の日、浜松西高のOBでバルセロナ五輪メダリスト溝口紀子さん(高42回)を講師に迎え、全校千六百六十名の生徒を前に、「西高で学ぶということ」という演題で講演会を開催しました。

卒業して22年経ちました。私は、皆さんのお父さん、お母さんくらいでしょうか。しかし、まだまだ現役。学生なら2秒でおとせるし(柔道の絞め技)、朝は5時から中田島でサーフィンしています。(エー)

この舞台上上がるのは、高3の学園祭後夜祭で歌ったとき以来です。確か加藤善彦先生(高42回)もそうでしたよね。(エー)

玄関にある像を知っていますか?古橋廣之進さん、そして私。その隣には、その後続く人の名前が入るはずと思っています。今日は、皆さんに気合を注入するために、バルセロナオリンピックでの銀メダルを持って来ました。話している間に、順番に回して全員手にして下さい。(エー)



話し始め直後の自己紹介から3度も生徒達のだよめきが聞こえました。以下、スライドを見せながらの講演となりました。

- ①埼玉大学三年 夏20歳。バルセロナ五輪銀メダル。
- ②私の幼少時代。エリートのお兄に比べて読書や絵画好きのおとなしい子。小学四年生から太り、「何かを」と始めた柔道をきっかけに人生一転。入門した日に鎖骨骨折。親にやめろと言われたけれど、自分でやると決めたものをやりたい!男子に勝てるのが楽しい!小学六年生の頃には既にオリンピックに出たいと自分の生き方を決めていた。しかし、女で強いという事は、男にもてない。物がなくなったり、誹謗、中傷、いじめがあつた。強いから、人の上に立つという事は、リスクも伴う。必要なのは、どうやってそれを受け入れるか。それが生きる力となる。
- ③楽しむ柔道から勝つ柔道へ。勝つ柔道にはリスクがある。
- ④私の高校選択。中学三年生で全日本二位。中学校顧問にあこがれ、将来教員になりたいと思つた。柔道強豪校ではなく文武両立でき、OB、学校の支援がある公立進学校、西高に進学。
- ⑤実際の高校生活。高校生活に慣れず、出遅れた授業(3月ロンドン遠征)。自分に適した練習相手の不足。トレーニングシステムの不足。全日本、世界を目指した練習環境がない。(専属コーチいない)減量の苦痛。他生徒との意識の違い。
- ⑥高校進学するも苦戦続き。成績の転落。高校1年(6月)



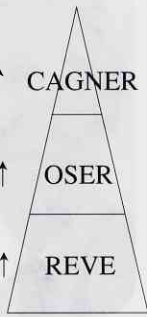
- ⑦挫折したときに病院のベッドで考えたのは、自分の本当の夢(理想)は何か?勉強では無理。柔道で。自分にしかできないことはないか?自分でできないことは何か?今しかできないことは何か?今できることは何か?...練習不足を補うために(浜松駅から西高まで)走ろう。転校とか、環境を変えるとか難しいことを考えず、自分を変えよう!
- ⑧高校2年で日本一になる。高校1年の冬、至上最年少、日本人で初めてパリ国際で優勝。気持ちの持ちようで考え方が変わり、成績もUP! 皆さん、環境のせいにしていませんか?自分が変わること!見方を変えること!それで変わることがある。
- ⑨銀メダルの意味。金メダルしか認められない日本柔道界。バルセロナ以降銀メダルの溝口さんと言われ、アトランタで金メダルを目指すのに3回戦負け。もう意味がないと思ひ引退宣言。

⑩表彰式のそのとき
左から、銀：唯一負けてもら
うメダル 金：笑顔、すべて
勝つてのメダル 銅：笑顔、敗
者復活で勝ち抜いてのメダル

⑪メダルとともに
コーチになってオリンピック
に出る難しさを知る。オリ
ンピックに出場しても、その中
で勝つ難しさを知る。

⑫夢をかなえる法則
夢を持っていきますか？信念を
持って何か行動を起こしていま
すか？

⑬四十にして迷わず？
努力すればむくわれると言
うが、むくわれないこともある。努
力によって夢をみて、努力によ
って夢を掴み、努力によって
大切なものを失い、努力によ
って裏切られ、それで努力する意
味を知る。結局努力するしか答
えはないし、前に進めない。



⑭フランス式成功ピラミッド
みんな努力しています。その
中でやり遂げるのは、やり遂げ
る勇氣を持つこと。

⑮悔いのない高校生活を！
不当な批判は賛辞と受け取れ。
大切なものは目に見えない。負
けるが勝ちと思える日が必ず来
る！
失敗することを恐れず、信念
を持ってやり遂げて！OBとし
て応援しています。

講演後も生徒から「試合が近
いと緊張する。心の整え方を教
えて下さい。」との質問に、「緊張
はマイナスではない。勝ちたい

から緊張する。そこで3つのお
まじないを心で唱えよう。①あ
わてない②あせらない③あきら
めない」とアドバイスをいただ
きました。生徒からは拍手が起
こりました。

OB会活動紹介

陸上部OB・OG会

私がOB会の役員になって数
年が過ぎようとしています。現
在、確認ができています。OB会
員は720名ほど。そのうち、現
住所がわかっているのが550
名ほど。毎年、春、その550
名ほどに通知を出して、総会、懇
親会の参加と、年会費の負担を
お願いしています。

総会・懇親会は毎年6月の最
終土曜日の晩、アクトオークラ
ホテルの宴会場を借りて実施し
ていますが、参加者はわずか4
0名ほど。参加者の多数は、か
つて陸上選手として好成績を残
すことができた会員、現在も陸
上競技の指導者として陸上競技
に携わっている会員で、大多数
を占める、陸上選手として好結
果を出すことができなかった会
員の参加はほとんどありません。
これに対し、年会費の負担者
は毎年少しずつ増え続け、10
0名超の会員から負担して頂け
るほどになりました。この年会
費で、110名ほどの大所帯と
なった西中・西高の現役の陸上
部員に、1人1本ずつスポーツ
タオルを贈呈し激励するととも
に、インターハイ出場者や指導

者となって全国大会に出場する
選手を育てあげたOB会員に激
励金を差し上げています。
更に、昨年は、西高グラウンドに
敷設してあるタータンの補修工
事代金の一部をOB会で負担す
ることもしました。

今後の課題としては、やはり、
総会・懇親会の参加者を少し
つ増やしていくことにあると思
います。陸上部員として良い結
果を求められたのは、遠い昔の
こと。みんな、今はもう、そんな
ものからは卒業しているはず。
陸上選手として好成績を残すこ
とができなかった会員を暖かく
迎え入れ、老若男女が分け隔て
なく、単純にみんなが「楽しかつ
た。参加してよかった。来年もま
た来たい。」と言ってもらえる懇
親会にしたいと思っておりますが、
なかなかそうはいきません。年
一度の会員の交流の場である懇
親会を、みんなで楽しむことが
できるものにするためにはどん
なことをすればいいのか、現在
も模索中です。

浜松西高陸上部OB会・事務局
高35回 鈴木 公(いさお)

対浜松北高OB定期戦

野球

野球部OB会の目玉でありま
す浜松北高OBとの定期戦が二
年連続雨で流れるという不運に

見舞われ、正直ネタ切れであり
ます。

昨年恒例になっております
「夏の祭典」を紹介させていた
だきましたので、今年はいろい
ろな場面で好評を頂いておりま
すOB会発行の「選手名鑑」を
紹介させていただきます。

この「選手名鑑」は、十年以
上前から毎年六月頃に中等部の
一年生から高校の三年生の六学
年分の選手(部員)の顔写真に
加え、身長・体重、出身校、球
歴等のプロフィールを掲載し、
現役選手、保護者、野球部OB
は元より、練習試合の相手校や
地元の少年野球チーム等に配布
し、本校野球部のPRを目的と
した小冊子です。2013年度
版は16ページで、数百部印刷し
ました。機会があれば是非ご覧
になってください。
(高29回 村上由喜孝)



サッカー

第三十八回定期戦結果

毎年八月の第一日曜日は、浜
松西高校と浜松北高校の現役
サッカー部員とOBの方々が集
まり定期戦が行われています。
現役選手においては各種大会で
直接対決や大会結果などを競い

ながら、お互いに成長し、OBの
方々は旧友を深めながらも、永
遠のライバル浜松北高と競い合
う良い機会となっております。第
三十八回の定期戦は、浜松西高
が幹事当番となり、遠州灘海浜
公園球技場で行われました。現
役部員・父母会・若手OBから60
代・70代のOBの方々まで多く
の方に集まっていたが、緑色
の芝生の上で楽しくボールを追
いかけることができました。
定期戦の結果は0-40は引き
分け、OB最強戦は浜松北高の
勝利、最終戦の現役戦で浜松西
が2点差以上の勝ちが必要とな
りました。選手権にむけての
チーム作りの最中であつたが、
浜松西高校が積極的な守備と効
果的な攻撃によって3-1で
勝利することができ、定期戦も
勝ち点で並んだが、得失点差で
勝利することができました。

OBの方々の真剣なプレーや、
いくつになっても勝利にこだわ
る姿を現役選手に見せてもらえ
たことは指導者である我々も
サッカーに対する考え方や、取
り組む姿勢に大きな影響を受け
たと思います。そして、今後も
浜松西高校・浜松北高校のプラ
イドをかけた戦いが続くことを
期待しています。

OB戦0-55	浜西	1-2	浜北
OB戦0-40	浜西	1-1	浜北
OB戦0-30	浜西	1-0	浜北
OB最強戦	浜西	0-1	浜北
現役C戦(中等部)	浜西	0-2	浜北
現役B戦	浜西	0-1	浜北
現役A戦	浜西	3-1	浜北

1勝1負得失点差により
浜松西高校の勝利となった。

叙勲の人

平成25年春の叙勲
瑞宝双光章 品川瑞彦(高11回)
旭日双光章 萩總治郎(高13回)

瑞宝双光章

品川 瑞彦(高11回)



小学、中学、そして西高在校生として、過した郷里「浜松市」を離れて、五十五年が過ぎました。青雲の志を抱いて、故郷を出て、高度成長期の日本の企業戦士の一員として、頑張りました。しかし、病の為挫折、故郷に帰ろうとしたのですが、箱根の山は越えたのですが、大井川で川止め。鳥田の宿を第二の故郷と定め、家庭を持ち仕事を心得、地域社会の発展に参画しました。仕事を通じて、住んでいる地域・行政とのかわりも深まり、その内で、自分の出来る範囲での奉仕活動にも、参加していきましました。そんなある時期に、保護司を委嘱されたのです。法律的な知識は全く無く、又

保護司とは何をするのか、皆目判らず出来るのかと、半信半疑の気持ちでしたが、これも自分自身の勉強でもあり、家族を守り、又住んでいる地域社会を良くする為には、必要な事だと思い引き受けました。爾来、約三十年間この奉仕作業を続けているのです。保護司とは、故あって罪を犯した人の更生に対する援助・助言をする事又社会復帰する為の環境を整備し、再犯を防止し、地域への受入れてもらえる様に見守り、調整していくのが役目と考えています。自分の人生経験には無い、色々な事情を抱えている人達との関係―改めて家族・地域・社会とは何かと考えさせられる奉仕活動だったと、振り返る事が出来ます。叙勲・褒章は、顕著な業績をあげた人、世の為に尽くせし功のある人が対象であり、私的には無縁な事でした。今回の叙勲理由が、保護司の地道な活動・努力に対する事、本当に名誉な事と思っていいます。全国の保護司の活動が、国に認められている事又地域社会に必要なのだとの認識して戴いている事、保護司の構成員として、大変誇りに思います。そして、自分が育ち、今生活している静岡県の故郷で受章した事、より一層の感謝の気持ちで一杯です。

旭日双光章

萩 總治郎(高13回)



よもや、よもやの叙勲の榮に浴しました。私は静岡大学工学部卒業後、叔父の経営する会社に昭和四十一年入社しました。LPガス業界です。普及から十年ぐらこのこれからの業界であったように思います。以後、無資源国の日本ですから四十数年の間にいろいろな事がありました。特に第一次、第二次石油ショック、最近では温暖化防止と技術の向上によるエネルギー間の垣根が無くなったこと、そして目を見張るような安全・保安面の向上等です。ただひたすら、これらに対する真面目な取り組みが今回の受賞につながったと思います。もう一つ、私は周りの人に恵まれたと思います。私をしっかりと指導してくれた人達、そしていつも手をさしのべてくれた人達がいたことです。まとめれば「お蔭様で」の一言につきると感謝しています。これからも少しでも社会に役立つことが出来ればありがたいことです。

サンフランシスコ講和条約 締結記念文集発見!

この会報をご覧の方で、この文集希望者は、左記までご連絡ください。

- 高5回 本多秀行 電話(053)452-9040
- 高6回 酒井基寿 電話(053)441-5987
- 高6回 林 信志 電話(053)486-3412
- 高6回 伊藤庄平 電話(053)454-6651
- 高6回 川島順三 電話(053)454-4768

川島順三(高6回)

昭和二十六年九月八日
サンフランシスコ講和条約
締結

同二十六年九月十日
伊藤新七郎校長の訓話あり

同二十六年九月二十五日
西高新聞に訓話内容掲載

同二十七年四月二十八日
条約発効

早速校長先生を通じ、図書室で製本された原本を確認し、借りてきた。当事者にとってはまさにタイムカプセル。なんとか希望者に配布できないかと、現在印刷業者と相談中である。



活躍する同窓生

映画監督になるなんて思わなかった



山岡 大祐 (高46回)

美大に行った同級生が8ミリフィルムで自主制作映画をやっていたので、仲間に入れてもらったのが映画製作に関わるきっかけです。

映画は高校までほとんど見ていませんでした。大学でゼミの教授に将来の夢を聞かれて、なんとなしに「映画監督です」と答えたところ「じゃあ年間二百、三百本は見てるんだ？」と言われて「監督になるにはそんなに沢山見ていないとダメなのか!？」と焦り、慌てて名作と言われる映画をビデオで、新作を映画館で見るようになったくらいです。遅まきながら映画の魅力にハマったのはそこからで、制作にも熱が入り始めました。

そして大学卒業後に制作した短編が今は亡き大島渚監督が審査委員長を務める映画祭で賞をもらいました。それがこの道を続けるターニングポイントでした。

た。それから十年。2009年には小規模ですが監督作を劇場公開する事も出来ました。翌年にはクエンティン・タランティノー監督を輩出したアメリカのサンダンス映画祭とNHKが行っている国際映像作家賞でもグラプリをもらいました。今年はFOXチャンネルが行っている短編映画祭でグランプリを頂いています。

これまでの人生で、映画以外で自分が認められたり評価されたりすることはありませんでした。だから、そういったことの一つ一つが嬉しく、次に進むモチベーションになっていきます。

自分がそうだったから、という事もあります。認めるというののは大事です。現場のモチベーションをあげるため、キャストやスタッフの仕事を確認することも、どこが良かったのかちゃんと見ていないと分からない。だからこそ人の仕事に誠実に向き合っていて注意を払う。そんなことも映画を通じて学んだことの一つです。大変なことも多いですが、これからの映画の制作は続けて行きます。現在は新たな長編劇場用映画を制作するべく準備をしています。皆さんに見て頂けるような大きな予算の映画にしたいです。順調に制作され、映画館で公開されたおりにぜひ見に来てください!

東日本大震災を経験して

浦部 晶彦 (高46回)

福島県職員となってあつという間に十二年目になりました。今現在生活している福島市は浜松市と比べて一ヶ月くらい遅れて春が来ます。桜が咲くのは四月中旬です。私生活でも仕事でも浜松との比較は福島県を理解するうえで私の基盤となっています。

「東海地震が近いうちに起きる」と小学生の頃から半ば脅かされていたのではないかと思いつながら育ちましたが、地震に対する意識が高かったと言えはそうではありませんでした。せいぜい懐中電灯などの防災セット一式程度の備えでした。ところが、もう二年以上も前の東日本大震災と東京電力の原子力災害を経験して、なぜ今まで自然災害に対する怖さを実感できなかったのか反省させられました。



かったのか反省させられました。人間は自らの五感すべてで経験しないと実感しないでしょう。巨大な地震は身近に発生し、道路や家屋を簡単に破壊し人命を容赦なく奪います。長い時間と多大な労力を費やし築いた町や文化も変えてしまします。福島県の被災は人生観を見直すきっかけとなりました。例えば、日々の目標が自分の家を建てて仕事も家庭も充実させて幸せに暮らすという漠然としたものから、目の前の具体的な課題に取り組み、復興にむけて少しでも前進しようという明確なものにかわりました。

地震直後、当時勤務地であった郡山市から福島市に帰る道路は大混雑、かろうじて営業していたコンビニにはすでに食料はなく温かい缶ジュースを購入するのが精いっぱいでした。次の日からガソリンスタンドは長い行列となりました。ライフラインはすべて止まり、水道も使えないために給水車に三時間近く並んでやっと五リットルの水をもらえた程度でした。娘と当時0歳の息子をなんとか妻の実家である会津若松市へ避難させたことは昨日のことのようです。私は、避難所支援のために在る小学校へ泊まり込みをしました。振り返ればそれは、放射性物質が降下する中での支援でした。

被災から二年経ち、福島県ではさまざまな支援を受けて復興にむけて進みだしたことでそうでないことの両局面が浮き彫りになりつつあります。私の仕事に関係する部分でいえば、進展

しはじめたことの一つは津波被災地の復旧です。防潮堤・防潮林・嵩上げ道路や区画整理が着々と進められています。その反面、放射性物質が広範囲に降り、それを含む土砂等を保管する場所を確保できない地域は、復旧の基盤となる道路工事は進展せず維持管理も十分にできません。

復旧・復興には、地域の人々の絆が大切です。人と人との絆が比較的残っている福島県です。なかなか復興は進んでいません。都市部において同様の事態が起れば、弱い立場にいる人びとが犠牲になるのではないかと危惧しています。

これから福島県で復興にむけて実現されることが将来にわたり世界に誇れることになるだろうという使命感をもち、同窓生の方々が世界で活躍し続けていることを糧に、私も微力ながら頑張ります。

きものに魅せられて



秋元(本尾)延子 (高46回)

きものに魅せられて、三十年余。キモノと言っても着るのではなく、作ることに初めて染めたのは、五歳の大海日。年越しの支度で大忙しな大人たちの横で、黒豆の煮汁をもらって染めた。くすんだ深い紫色。祖母

の着物の端切れで、立涌模様の美しい縞子地であった。染まるということの不思議さと、絹の光沢にやられてしまった。その後、祖母の為に、拙い針でお香袋を仕立てた。それからずーっと何かしら染色ととも生きていて、我ながらよく飽きないなあ」と思う。

「振り返ると、デザインが好きだとかオシャレが好きで着物の世界に入ったのではなく、ただただ貧乏人が極上の美しい物に触れるには作り手になるしかない、と思いついたわけだ。この世界に入った」と、いうわけだから高校生の頃など、なんともあか抜けなくて美大を目指す学生には全く見えない、いわゆるイケてない娘であった。しかしながら、本人は高校入試のときにすでに美大に入る気満々で、入試面接の美術教師に「美大に進学したいです！」と書いていたように思う。入学してからも卒業後も粟野先生には大変お世話になり、今年の春にはクリエイト浜松で開催された「水曜会展」で一緒に作品を展示させていただいた。長い縁である。

その後、就職してツモリチサトさんや岩下志麻さんのアシスタントをするようになって、毎週のように京都と東京を新幹線で往復している時期があった。染の見本や図案を持って新幹線に乗ると、打ち合わせがうまく行かなくて落ち込んだり、胃が痛くなったりした。が、浜松に通るから、西山台の上で校舎が朝日に照らされているのを見ると、懐かしく力がわいた気がする。西山寮での弦楽部の合宿や、新しい図書館での天体観測会など、楽しい思い出がキ

ラキラと思いついたからだろう。

二人目の娘を出産して私の仕事人生に転換期がおとずれた。長い間勤めた会社をやめて、デザインの線から離れざるをえなくなったのだ。人生の師匠であるツモリさんや岩下さんのように、育児と家庭と仕事をバランスよく、末永くハッピーに暮らしていくのが目標である。しかし目標ははるか彼方に、まったく自分のデザインした着物をまとった俳優やモデルさんたちを、テレビや雑誌で見かけては生まれたばかりの赤ちゃんを抱きながら泣いて暮らしていたときもあった。一線からはなれても、メディアでは一足遅れて放映され、出版される。育児の間に時代の遅れに、もうデザインの世界に戻れないのでは？という不安が、それを見るたびに頭をよぎったのだ。

子たちも少し大きくなった今、自分のペースで仕事を始められるようになった。黒豆が目覚めた染色だが、今は近所の京野菜を使って作品を染めている。そして、私が尊敬する師匠たちから教わったノウハウや、センスをこれからの若者に伝える仕事もある。Macでテキスタイルデザインを、という切り口で教壇に立つ。一般的な広告デザイン向けの授業ではない。ファッション業界のクリエイター向けの授業構成で、草木染め実技からグラフィックまで幅広く教えている。美しい日本の文化である着物と染色の魅力を広げて、産業を守る。デザインの世界が豊かに、人間が幸せに包まれることを祈って、今日も美しいモノ

基礎医学の研究に興味を抱いて



橋本 剛 (高46回)

私が大阪大学医学部保健学科に入学して大学生活を始めたのは、1995年(平成七年)の阪神・淡路大震災が発生した直後でした。一般教養を学ぶ豊中キャンパス周辺にも、倒壊したり、ブルーシートで応急処置されたりした家屋など、少なからず被害の爪痕はありましたが、私自身はボランティア活動をしながら充実した学生生活を送ることができました。

大学二年時からは基礎医学の研究に興味をもち、吹田キャンパスにある研究室に足しげく通いました(豊中キャンパスから吹田キャンパスまでは自転車で行道一時間程度)。基礎医学に興味を抱いたのは、幼い頃から原因不明の蕁麻疹に悩んでおり、大学在学中に出会った恩師の研究テーマがアレルギーや炎症に関与しているヒスタミンであったことがきっかけです。ヒスタミンは、炎症反応以外にも胃酸分泌の調節、睡眠・覚醒の調節など、全身性の効果がある興味深い生理活性物質で、私はヒスタミンの作用に関わる新規医薬品

のシード化合物を開発するため日本とオランダを行き来する大学院生活を送りました。

学位取得後は、香川大学医学部の助手(現助教)として就職しました。新たなテーマを探していた十年前、すでに高校時代になった自分自身を見つめ直すため(痩せたい一心で...)、そして炎症と肥満が密接に関与しているとの学説のもと国内外において多くの研究がはじまりつつあった時期でしたので、遅ればせながら私も肥満に関する研究をスタートさせました。簡単に痩せることができる「ヤセ薬」を世に送り出したいという安っぽい目標を掲げてこれまで研究を続けてきましたが、他の多くの研究者同様、その道のりは未だ遠いであろうというのが個人的見解です。

その困難な道に光明が差す出来事として、香川大学の農学部と医学部において、「希少糖(レアシュガー)」の一つで、甘味が砂糖の七倍程度、抗肥満効果や動脈硬化の抑制効果をもつ「D、Pシコース」を大量に生産する技術開発が行われました。さらに、平成二十四年六月には希少糖含有シロップ「レアシュガーシロップ」が松谷化学工業から発売が開始され、いま非常にクローズアップされています。今後肥満を研究する者として、生活習慣病予防と改善のための啓蒙活動を行うと同時に、香川大学の希少糖を国内さらには世界へと広めていけたらと考えています。

第12回 浜西フォーラム

荒木正嗣氏講演

第12回西高同窓フォーラムは平成二十五年二月十六日(土)ホテルコンコルド浜松で、百名余りの出席者のもと行われました。第一部は、「銀木犀の間」にて第一航空団司令兼浜松基地司令荒木正嗣氏の講演が行われました。「我が国の弾道ミサイル防衛」と題し、弾道ミサイル拡散の状況や、北朝鮮の弾道ミサイル開発の話、その防衛についてなど我が国の国防に関する興味深い内容でした。



第二部は、会場を「雲の間」に移動しての懇親会。高23回小笠原守之助氏の挨拶に続き高14回大塚哲雄氏の司会にて進行され、世代を越えたとても和やかな交流が図られました。また、本年度「新春の集い」代表幹事の高45回新野 正氏、来年度「新春の集い」代表幹事の高46回藤田 薫氏から挨拶があり、高12回前田米蔵氏のメールにて閉会となりました。

第37回浜松西高同窓ゴルフ大会

第三十七回浜松西高校同窓ゴルフ大会が例年通り、五月の三日水曜日、二十二日に浜名湖カントリークラブを貸し切って開催された。この大会は、毎年参加されている諸先輩方もおり、開催を楽しみにされていると聞いている。大会当日は、晴天に恵まれ、ゴルフを行うにふさわしい天気であった。ゴルフをやるには、まず天気、幹事としては一安心というところである。参加者は全体で、170名、うち女性性は4名の参加であった。女性の参加は、大会が華やかになるので歓迎したい。例年女性性は1名、2名と聞いていたが、昨年は5名の参加、今年は4名



と1名減ってしまったが、何とか面目を保った形となった。男性女性にかかわらず、参加者あつてのゴルフ大会である。この大会が今後更に有意義なものになっていくことを期待したい。

ほとんどのパーティーが3名ずつ回れたので、スムーズに回れたと思う。すべてのパーティーがほぼ時間通り戻ってきた。今年、水野美明(高12回)さんが7番ホールでホールインワンを達成し、スコア集計所では大変盛り上がった。

16時からは、表彰式を行った。全員には行き渡らないが、ほとんどの諸先輩方に賞品が行き渡るように気を配り、結果に一喜一憂しながらも、楽しい表彰式になったと思う。表彰式の最後には、参加者全員による「折りたたみ自転車」争奪じゃんけん大会を行い、最後まで盛り上がるものとなった。

今年、浜松西高同窓ゴルフ大会の松山会長が退任され、新たに齋藤会長にバトンタッチすることとなりました。今後、我々の絆を一層強くする会の運営を期待したいと思います。また、幹事一同は、次回の幹事(高35回)と共にこの浜松西高同窓ゴルフ大会が少しでも我々同窓生の絆が深まるよう祈念し、バトンタッチしていきたいと思う。(幹事学年 高34回一同) 競技の結果は、以下の通りです。

◆シニアの部

- 優勝 播磨 衛(高2)
- 第2位 グロス86 ネット69・2 中村 誠(高9)
- 第3位 グロス91 ネット71・8 白柳 敏幸(高11)
- グロス84 ネット72・0

◆一般の部

- 優勝 岡部 正己(高18)
- 第2位 グロス83 ネット71・0 飯尾 勉(高18)
- 第3位 グロス81 ネット71・4 松本 一宏(高23)
- グロス83 ネット72・2

◆レディースの部

- 優勝 石川 江利(高30)
 - 第2位 グロス108 ネット80・4 原田佳代子(高23)
 - 第3位 グロス130 ネット90・0 大野みさよ(高23)
 - グロス130 ネット90・0
- (以上敬称略)



シニア優勝



ホールインワン

還暦に寄せて

俺達は熟年、まだまだこれからだ!



龍口 良信(高24回)

思い起こせば、卒業から二十年後の「新春の集い」の当番幹事年からもう二十二年過ぎていきます。初めて同窓会の大きな事業に携わり、大変有意義な時を過ごしたと今更ながら感慨深いものがあります。あの時から高二十四回卒の僕達は、西高の卒業生という意識が以前にまして強くなりました。

自分は還暦を迎え気持ちだけはまだまだ若いのですが、時々鏡の自分に「こんなだっけ!」と少し老け込んだ自分に唖然とし、同級生の姿に「おまえも歳だな!」と思うこともあります。そして会話の内容が、体調・持病・子や孫のことになると俄

然多弁になってくる。体調不良や持病のことを自慢げに?語っている友に、「俺もだよ」と妙に共感してしまい、「俺のほうかもっとすごいぞ」とばかりに議論白熱し、お互い気持ち元氣になっていくのもまた妙なものです。会話のペースが、昔の自分達のそれになっていき、少し年取ったが「五十・六十働き盛り、俺達まだまだこれからだな!」と気の合う元氣潑刺な同級生にたちまち変身します。

「祇園精舎の鐘の音、諸行無常のひびきあり」高校時代には平家物語の「諸行無常」の意味は不明でしたが、「すべてのものは変化する」という意味なのだと思えていた覚えがありました。皆、いろいろな人生経験を経て今に至っているわけですが、良くも悪くも人生は「変化」そのものです。できればその「変化」が良き進化・向上であればよいと思う次第です。来春の新春の集いでは多様に「変化」した多くの友との再会を楽しみにしています。

平成24年度クラブ成績一覧表

【中等部】

運動部	浜松市大会	県大会	東海大会	全国大会	浜松市新人大会	県新人大会	その他主な大会	
陸上	西部通信陸上競技大会 女子共通800m 3位 女子共通走幅跳 5位 女子低学年4x100mリレー 5位 女子2年100m 7位 女子共通4x100mリレー 7位 女子1年800m 8位 女子総合の部 8位 男子共通400m 9位 男子1年1500m 10位	県通信陸上競技大会 女子共通800m 2位 県選抜陸上競技大会 女子共通800m 1位 女子共通1500m 5位	東海中学校総合体育陸上競技大会 女子共通800m 3位	全日本中学校陸上競技選手権大会 女子共通800m 予選通過 男子1年100m 4位	西部地区中学校新人陸上競技大会 男子1年1500m 10位 男子共通100m 3位 男子共通3000m 13位 女子1年100m 2位 女子1年800m 11位 女子共通4x100mリレー 5位 女子共通走幅跳 8位 浜松地区新人総合体育大会 男子2年100m 1位 男子1年1500m 6位 男子共通3000m 7位 女子2年100m 8位 女子1年800m 7位 女子共通4x100mリレー 5位 浜名湾中学校新人水泳大会 男子総合1位・女子総合1位 女子400mR1位・男子400mR1位 女子400mMR1位・男子400mMR1位 男子200m個人MR3位・男子100m平泳ぎ5位 男子200m平泳ぎ2位・男子100m平泳ぎ3位 男子200m自由形4位・男子100m自由形4位 男子200m自由形3位・男子100m自由形3位 男子100m自由形8位 女子200m平泳ぎ5位・女子100m平泳ぎ3位 女子200m自由形3位・女子400m自由形2位 女子200m平泳ぎ4位・女子100m平泳ぎ3位 浜松地区新人総合体育大会 男女総合2位・男子総合2位・女子総合2位 女子400mR2位・女子400mMR2位 男子400mR1位・男子400mMR3位 男子200mMR2位・男子100m平泳ぎ5位 男子200m平泳ぎ3位・男子100m平泳ぎ2位 男子300m自由形2位・男子400m自由形2位 男子200m自由形6位・男子100m自由形7位 女子200m平泳ぎ5位・女子100m平泳ぎ3位 女子200m自由形2位・女子400m自由形1位 女子200m平泳ぎ4位・女子100m平泳ぎ2位 女子200m平泳ぎ4位・女子100m平泳ぎ2位 秋季大会2回戦0-7北浜中 2回戦1-2与進中 ホンダカップ9位 浜松地区5位 西部地区ベスト8 浜松地区2回戦	県中学生新人陸上競技大会 男子共通100m 4位 女子1年100m 8位 女子共通4x100mリレー 7位		
水泳	男子50m自由形1位・100m自由形4位 男子100m平泳ぎ5位・200m平泳ぎ5位 男子100m平泳ぎ6位 男子200m自由形8位 女子100mバタフライ3位・200mバタフライ2位 女子50m自由形8位 女子200m個人MR6位・400m個人MR5位 女子100m背泳ぎ5位・200m背泳ぎ5位 女子100m平泳ぎ6位・200m平泳ぎ5位 女子200m個人MR4位・100mバタフライ4位 男子400mR4位 男子400mMR8位 女子400mR2位 女子400mMR2位	男子50m自由形9位 男子100m平泳ぎ5位・200m平泳ぎ10位 男子200mバタフライ6位 男子400mMR5位 男子400mMR10位 女子400mR6位 女子400mMR6位 【飛込】 男子高飛込7位 男子飛板飛込6位	女子200mバタフライ4位	【飛込】 男子高飛込29位 男子飛板飛込22位				
野球	1回戦1-8浜名中							
サッカー	市内ベスト16							
男バスケ	市内ベスト16							
女バスケ	西部大会ベスト16							
男テニス		団体戦優勝 シングルス10位・ベスト32 第8回県テニス連盟大会 シングルス優勝7・12位・ベスト32 ダブルス優勝4・7・8位・ベスト32	ダブルス準優勝 団体戦出場	ダブルスベスト16	西部地区 シングルス1・2・3・4位 14・15・16位 ダブルス2・4・5・6・7・14位	団体戦1位 シングルス1位・ベスト8 ダブルス3位・ベスト8	東海大会団体戦6位	
女テニス		団体戦準優勝 ダブルス準優勝・ベスト32 シングルス9位 第8回県テニス連盟大会 団体戦優勝 ダブルス準優勝・ベスト16 シングルス3位・ベスト16	ダブルス出場 団体戦ベスト8		西部地区 シングルス2・5・7・13・14・15位 ダブルス2・7・9・11・12・14・15位	団体戦1位 シングルス1・3位 ダブルス2位 団体戦2位 シングルス3位・ベスト32 ダブルス3位・ベスト16	東海大会団体戦4位 全国大会出場	
男女ソフトテニス	団体戦予選リーグ敗退 個人戦ベストA出場							
男卓球	個人の部11・22位	個人の部14位・出場	個人の部出場		個人戦出場 カデット個人戦10位 静岡スポーツフェス個人戦ベスト16	カデット個人戦シングルスベスト16 ダブルス4位 新人大会個人戦ベスト16 大阪国際招待選手権兼名古屋オープン県予選個人戦ベスト16 カデットシングルス出場	東海卓球選手権ダブルス出場	
女卓球	団体の部グループリーグ3位 個人の部出場				カデット個人戦ベスト32・64 浜松地区新人大会団体戦出場 西部地区新人大会団体戦出場 軽量級優勝 男子団体7位 市民スポーツ祭敢闘賞			
柔道	50K級6位・70K級3位	50K級出場・70K級5位						
剣道	夏季浜松大会男子団体6位 男子個人4位・16位 夏季浜松大会女子団体8位 女子個人14位	男子団体出場 男子個人出場 女子団体出場 女子個人出場						

文化部 (前期)	地区大会に準ずるもの		県大会に準ずるもの		全国大会に準ずるもの	
	大会名	成績・結果	大会名	成績・結果	大会名	成績・結果
科学 吹奏楽 (後期)	静岡県吹奏楽コンクール西部大会	A編成の部銀賞	静岡県中学生ロボットコンテスト 中部日本吹奏楽コンクール県大会	優勝・第2位・第4位 大編成の部優秀勝		
科学 吹奏楽	管打楽器アンサンブルコンテスト西部地区大会	打楽器五重奏銀賞、クラリネット八重奏金賞 フルート四重奏金賞、金管八重奏金賞	管打楽器アンサンブルコンテスト県大会	フルート四重奏・金管八重奏出場	創造アイデアロボットコンテスト東海地区大会	出場 静岡県第1・2代表
弦楽			静岡県器楽合奏コンクール TBSこども音楽コンクール厚着地区大会	浜松市教育長賞 優秀賞		

【高等部】

運動部	静岡県高校総体 西部大会	県大会	東海大会	全国大会	高校新人大会 西部大会	県大会	その他協会・連盟 主催の主な大会
陸上	優勝 男子 800 m 2位 男子 800 m 男子 5000 m 3位 男子 1500 m 男子 110 m H 男子 1600 m R 女子 100 m 女子走高跳 4位 男子 100 m 男子 400 m 男子 400 m H 男子三段跳 女子 400 m 女子 1600 m R 5位 男子 100 m 男子棒高跳 女子 400 m R 6位 男子 400 m 男子 1500 m 女子 100 m H 女子 400 m H 7位 男子走高跳 男子 400 m 男子三段跳 女子 200 m 8位 男子砲丸投 学校対抗 男子 3位 女子 6位	2位 男子 800 m 男子 110 m H 2位 男子 1600 m R 男子三段跳 5位 男子 400 m H 女子 100 m 女子 400 m 7位 男子 100 m H 女子 400 m R 学校対抗 男子 6位	5位 男子 800 m 8位 男子 1600 m R 女子 400 m	予選敗退 男子 800 m	優勝 男子 800 m 男子 1500 m 男子 5000 m 男子 110 m H 男子 400 m R 男子三段跳 2位 男子 200 m 男子 800 m 男子 1500 m 男子 400 m H 男子走高跳 女子走幅跳 男子 5000 m 男子 1600 m R 女子 400 m H 女子 400 m R 4位 男子 100 m・1500 m 男子走幅跳・砲丸投 女子 100 m 5位 男子 400 m 女子 1600 m R 6位 女子走幅跳 7位 男子 100 m・400 m 男子 100 m H・三段跳 女子 100 m H 8位 男子 110 m H 学校対抗 男子優勝 女子 6位	優勝 男子 110 m H 男子三段跳 2位 男子 400 m H 3位 男子走幅跳 男子 400 m R 女子走高跳 4位 男子 400 m 男子 800 m 男子 1600 m R 5位 男子 400 m 男子 5000 m 男子砲丸投 女子 400 m 女子 400 m R 6位 男子 800 m 男子 1500 m 7位 男子 1500 m 男子 5000 m 9位 男子 1500 m 優勝 オープン競技女子棒高跳 学校対抗 男子優勝	東海大会 優勝 女子棒高跳 2位 男子 110 m H 3位 男子 1600 m R 4位 女子 1400 m R 日本ユース 6位 男子 110 m H
水泳	男子総合 7位 8位 男子 1500 m 自由形 1位 男子 200 m 背泳ぎ 2位 男子 100 m 背泳ぎ 9位 男子 50 m 自由形 5位 男子 400 m ドレーン 6位 男子 400 m フリー 女子総合 3位 2位 女子 50 m 自由形 2位 女子 100 m 自由形 1位 女子 200 m バタフライ 1位 女子 100 m バタフライ 10位 女子 200 m 平泳ぎ 2位 女子 200 m 自由形 5位 女子 100 m 自由形 3位 女子 200 m 平泳ぎ 1位 女子 100 m 平泳ぎ 2位 女子 400 m ドレーン 4位 女子 400 m フリー	2位 男子 200 m 背泳ぎ 2位 男子 100 m 背泳ぎ 女子総合 7位 2位 女子 50 m 自由形 2位 女子 100 m 自由形 5位 女子 200 m バタフライ 5位 女子 100 m バタフライ 2位 女子 200 m 自由形 6位 女子 200 m 平泳ぎ 6位 女子 100 m 平泳ぎ 8位 女子 400 m ドレーン 6位 女子 400 m フリー	6位 女子 50 m 自由形	女子 50 m 自由形出場 JOC 男子 200 m 背泳ぎ 出場 JOC 女子 50 m 自由形 出場 女子 100 m 自由形 出場 女子 200 m 自由形 出場	男子総合 4位 1位 男子 200 m 背泳ぎ 2位 男子 100 m 背泳ぎ 4位 男子 100 m 平泳ぎ 7位 男子 50 m 自由形 7位 男子 100 m 自由形 7位 男子 200 m 自由形 6・7位 男子 200 m バタフライ 8・9位 男子 100 m バタフライ 8位 男子 100 m 背泳ぎ 8位 男子 50 m 自由形 4位 男子 200 m フリー 4位 男子 200 m ドレーン 4位 男子 400 m フリー 5位 男子 400 m ドレーン 女子総合 5位 2位 女子 100 m 平泳ぎ 3位 女子 200 m 平泳ぎ 2位 女子 400 m 自由形 4位 女子 200 m 自由形 7位 女子 200 m 平泳ぎ 10位 女子 100 m 平泳ぎ 7位 女子 50 m 自由形 11位 女子 200 m 個人メドレー 4位 女子 200 m フリー 7位 女子 200 m ドレーン 6位 女子 400 m フリー 7位 女子 400 m ドレーン	優勝 男子 110 m H 男子三段跳 2位 男子 400 m H 3位 男子走幅跳 男子 400 m R 女子走高跳 4位 男子 400 m 男子 800 m 男子 1600 m R 5位 男子 400 m 男子 5000 m 男子砲丸投 女子 400 m 女子 400 m R 6位 男子 800 m 男子 1500 m 7位 男子 1500 m 男子 5000 m 9位 男子 1500 m 優勝 オープン競技女子棒高跳 学校対抗 男子優勝	東海選手権大会 2位 男子 200 m 背泳ぎ
野球	準々決勝 13-5 聖隷 決勝トーナメント 1回戦	3回戦 0-1 富士宮北			秋季西部大会 5位 決勝トーナメント進出 選抜優勝大会 ベスト 8 新人戦 12位	1回戦 6-13 沼津東 1次トーナメント 1回戦	
サッカー	3位						
男バスケ	7位	ベスト 8 出場			団体戦 8位 ダブルス ベスト 32	団体戦 ベスト 16 個人戦 シングルス 出場	
女バスケ	シングルス 13・18位 団体戦 8位	シングルス 出場 団体戦 出場			新人戦 シングルス 1・11・12位 新人戦 ダブルス 1・9・22位 新人戦 団体戦 3位 新人戦 男子 団体戦 11位	新人戦 シングルス 4・8位 新人戦 ダブルス 2・7位 新人戦 団体戦 3位 新人戦 男子 団体戦 32位	
男テニス	シングルス 4・8・9・10位 ダブルス 1・7・18位	シングルス 2・4位 ダブルス 3位	シングルス 出場 ダブルス 出場	シングルス 出場	男子 シングルス 32位 女子 シングルス 24位 全日本ジュニア 男子 シングルス 32位 女子 シングルス 48位	全日本ジュニア 男子 シングルス 出場 女子 シングルス 出場	
女テニス	男子 シングルス 64位 男子 ダブルス 32位 男子 学校対抗 12位 女子 シングルス 64位 女子 ダブルス 32位 女子 学校対抗 16位	男子個人 100kg 級 優勝 女子個人 48kg 級 3位 女子個人 52kg 級 3・4位 女子個人 63kg 級 2・3位 女子個人 78kg 級 2位	男子個人 100kg 級 出場		男子個人 60kg 2位 女子個人 52kg 3・4位 女子個人 63kg 優勝 2位 女子個人 63kg 別級 優勝 男子 団体戦 ベスト 16 女子 団体戦 準優勝	男子個人 60kg ベスト 8 女子個人 52kg 出場 女子個人 63kg ベスト 8 女子個人 無差別級 優勝 女子個人 無差別級 ベスト 8	
卓球	男子 シングルス 64位 男子 ダブルス 32位 男子 学校対抗 12位 女子 シングルス 64位 女子 ダブルス 32位 女子 学校対抗 16位	男子個人 100kg 級 優勝 女子個人 48kg 級 3位 女子個人 52kg 級 3・4位 女子個人 63kg 級 2・3位 女子個人 78kg 級 2位	男子個人 100kg 級 出場		男子個人 60kg 2位 女子個人 52kg 3・4位 女子個人 63kg 優勝 2位 女子個人 63kg 別級 優勝 男子 団体戦 ベスト 16 女子 団体戦 準優勝	男子個人 60kg ベスト 8 女子個人 52kg 出場 女子個人 63kg ベスト 8 女子個人 無差別級 優勝 女子個人 無差別級 ベスト 8	
柔道	男子 シングルス 64位 男子 ダブルス 32位 男子 学校対抗 12位 女子 シングルス 64位 女子 ダブルス 32位 女子 学校対抗 16位	男子個人 100kg 級 優勝 女子個人 48kg 級 3位 女子個人 52kg 級 3・4位 女子個人 63kg 級 2・3位 女子個人 78kg 級 2位	男子個人 100kg 級 出場		男子個人 60kg 2位 女子個人 52kg 3・4位 女子個人 63kg 優勝 2位 女子個人 63kg 別級 優勝 男子 団体戦 ベスト 16 女子 団体戦 準優勝	男子個人 60kg ベスト 8 女子個人 52kg 出場 女子個人 63kg ベスト 8 女子個人 無差別級 優勝 女子個人 無差別級 ベスト 8	
剣道	男子個人 県大会 出場 女子個人 県大会 出場 男子 団体 県大会 出場	男子個人 決勝進出			8位 男子団体 3位・男子個人 4位 スロースタイル 男子 団体 3位 女子 団体 4位・女子個人 4位	出場 出場	
弓道	男子個人 県大会 出場 女子個人 県大会 出場 男子 団体 県大会 出場	男子個人 決勝進出			8位 男子団体 3位・男子個人 4位 スロースタイル 男子 団体 3位 女子 団体 4位・女子個人 4位	出場 出場	
ボート	男子 舵手つき 2位 男子 シングルス カル 6位 女子 ダブルス カル 1位 女子 舵手つき 2位	男子 舵手つき 2位 男子 シングルス カル 6位 女子 ダブルス カル 1位 女子 舵手つき 2位	男子 舵手つき 3位 女子 ダブルス カル 3位	女子 ダブルス カル 準決勝進出		男子 舵手つき 4位 男子 ダブルス カル 6位 女子 舵手つき 5位	

文化部	地区大会に準ずるもの		県大会に準ずるもの		東海・全国に準ずるもの	
	大会名	成績・結果	大会名	成績・結果	大会名	成績・結果
(前期)	静岡県高等学校写真連盟 1回写真コンテスト	金賞・銀賞・銅賞				
写真	静岡県吹奏楽コンクール 西部大会	銅賞				
吹奏楽	囲碁選手権大会	男子 団体 4位・男子 個人 3位	囲碁選手権大会	男子 団体 ベスト 8・女子 個人 3位		
囲碁将棋	(後期)					
美術	第 43 回 西部展	奨励賞				
写真	静岡県高等学校写真連盟 2回写真コンテスト	銀賞・銅賞				
吹奏楽	ふくろい遠州の花火 2012 フォトコンテスト	優秀賞				
吹奏楽	静岡県高等学校吹奏楽コンクール 3回写真コンテスト	銀賞・銅賞				
吹奏楽	静岡県高等学校吹奏楽コンクール 西部大会	總指揮 銀賞・銅賞	静岡県高等学校吹奏楽祭	優秀賞 (第 4 位)		
吹奏楽	静岡県高等学校吹奏楽コンクール 西部大会	總指揮 銀賞・銅賞	静岡県高等学校吹奏楽祭	金管八十奏 出場		
吹奏楽	静岡県高等学校吹奏楽コンクール 西部大会	總指揮 銀賞・銅賞	高文祭 囲碁部門	女子 個人 戦 3 位		
囲碁将棋	静岡県高等学校吹奏楽コンクール 西部大会	団体戦 5 位・個人戦 6 位				

英国語学研修報告

二〇一二年七月、ロンドンオリピックの開催と時を同じくして、本校二年生三十七名による英国語学研修が始まりました。研修地は、ジェフリー・チョーサーの「カンタベリー物語」で有名な巡礼の街・英国南部のケント州カンタベリーです。

到着の翌日から、すぐにホームステイが始まりました。日本で「ホームステイ」というと、外国からのお客さんに日本の良さを紹介しようと精一杯のおもてなしをするイメージがあります。イギリスでも勿論そういう家庭もありますが、一般的には、宿を提

供する「同居人」として学生を受け入れ、あまり特別な扱いはしないようです。最初の数日は、そのラフな扱いに多くの生徒が戸惑いを見せ、とりわけ食事に関しては大いに驚いていました。日本で食べていた、毎日違うメニューでしかも品数の多い食事とは違い、夕食は毎日ジャガイモばかりだったり、冷凍食品オンリーだったりという家庭もあったようです。また、毎日持たせてくれる昼食も、日本で作ってもらう愛情たっぷりの手作り弁当とは大きく趣を異にするものでした。典型的なメニューは、「食パン二枚とリンゴ丸ごと一個」、あるいは「スナック菓子一袋とカップのプリン」といった感じ。日本のお母さん方のきめ細やかな心配りに、改

めて感謝の念を抱いた生徒も多かったことと思います。

しかし、最初は戸惑っていた生徒も、ほんの数日後には新しい環境を大いに楽しんでいました。質素な夕食の反動からか、フィッシュ&チップス、パステイ、スコーンといった英国グルメの店をいろいろと開拓し、楽しそうに情報交換する姿は微笑ましいものがあり、その順応性に頼もしさを感じました。

語学学校では、イタリア・フランス・スペイン・トルコ・中国その他様々な国々から集まった留学生たちと英語の授業を受けるという貴重な経験をしました。異なる価値観を持つ学生たちと意見を述べ合う中、英語力のレベルや積極性、授業を受ける姿勢、集



イトン・カレッジにて

団行動の規範意識など、多くの違いを発見したことと思います。例えば、三十分の休み時間を経て次の授業を受ける際、日本人学生は授業開始五分前には教室に戻って準備しているのに対し、ある国の学生たちは開始十分後、雑談しながら、あるいは物を食べながら教室に入ってくるようなことがあったと言います。また、日本人学生は、授業中先生が説明している間は静かに話を聞くのが当然と思っているのに対し、外国人学生は、何か疑問が生じたらその都度説明を遮って次々に発言し、授業が混乱状態になることがしばしばあったようです。こういったさまざまな違いを目の当たりにし、それが問題だと感じたらそのことを相手に分かってもらい、解決に向けて行動したという今回の経験は、生徒たちにとって大きな自信になったことでしょう。将来社会人となり、例えば海外の人たちと一緒に仕事をするような機会が来るとしたら、今回の経験が大いに活かされるのではないかと思います。

また今回は、研修期間がロンドンオリピックの開催時期とほとんど重なっており、往復の飛行機内や空港などで報道関係者や選手の間を目にしたことも、研修に花を添えてくれました。帰国日の成田空港では、私たちより一足遅く到着したサッカーの日本代表を出迎える機会に恵まれたりと、忘れがたい思い出ができました。

このような素晴らしい研修の実現に向け、多方面からご支援いただいた同窓会後援会に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

引率教諭 高38回 中村治代

恩師訪問



鈴木 典夫先生

皇月の花が咲き誇るゴールデンウィークのさわやかな日に、中国北京より一時帰国中の鈴木典夫先生のご自宅にお伺いいたしました。卒業して長い時間がたっていたため、少々緊張しながらお邪魔させていただいた

ですが、先生にお会いした瞬間から、高校時代に戻ったようになりました。和やかな雰囲気の中たくさんのお話を伺うことができました。

典夫先生は平成五年度から平成十三年度まで国語科の教員として勤務され私たちは現代文や古典、小論文指導などでお世話になりました。ご退職後、2009年九月から中国で教鞭をとられ、現在は北京師範大学で日本語の指導をされています。

面白かったのは私たちと同じように中国人の学生が先生に中国の古典を習っているというお話です。今となつては、かえって日本人のほうが漢詩を勉強しているかもしれないとのことでした。

在学中に先生がおっしゃった「高校生なのだから無難な選択だけではなく、もっと今しかできないことを」といった先生のお話はずっと印象に残っていたという話も飛び出したりと、あつという間の二時間でした。常に新しい生徒に全力で向き合っている先生にお目にかかり、いつでも年齢に関係なく、自分をもつて夢を持ち続けることで絶対にかなうんだよ、とお話を伺って、私たちも、それぞれの持ち場でまたがんばろうという新しい気持ちにさせていただきました。先生のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

(高46回 大隅佐織)

西山賞受賞者

西山賞とは「全国レベルで特に優れた業績・功績を挙げた生徒」に対して、三部門別（文化・芸術部門、スポーツ部門、善行部門）に同窓会から卒業時に授与されるものです。

中等部

文化芸術部門

凌 智寛

「雨活アイデアコンテスト2011 作文部門」最優秀賞 全一位

石丸将司

「第19回遠鉄ストア童話大賞・静岡新聞社・静岡放送賞」

スポーツ部門

武藤直子

「平成24年 全日本中学校陸上大会」女子800m出場

宮本和哉

「第39回全国中学生テニス選手権大会」ダブルスベスト16

「第61回東海地区中学生テニス選手権大会」ダブルス準優勝

漆田 健

「平成22年 全日本卓球選手権大会」(JOC) 14歳以下男子シングルの部出場

「平成23年 全日本卓球選手権大会」(JOC) 14歳以下男子シングルの部出場

「平成23年 全日本卓球選手権大会」(JOC) 男子シングルの部出場

高等部

文化芸術部門

鳥羽山莉沙

「第58回静岡県青少年読書感想文コンクール高等学校の部」静岡県教育委員会教育長賞 全国コンクール応募作品

林 優香

「平成22年 全国高校総体テニス競技」団体戦ベスト8

「平成23年 全国高校総体テニス競技」団体戦ベスト16、ダブルス出場

「平成24年 全国高校総体テニス競技」シングルス出場

山口恵実

「平成22年 全国高校総体テニス競技」団体戦ベスト8、シングルス出場

「平成23年 全国高校総体テニス競技」団体戦ベスト16、シングルス、ダブルス出場

「平成24年 全国高校総体テニス競技」シングルス出場

「第65、66、67回国民体育大会」出場(第67回は6位入賞)

鈴木峻馬

「平成24年 全国高校総体陸上競技」800m出場

伊藤祐輝

「第4回日本ユース陸上競技選手権大会」4×100mリレー予選出場

内藤友紀

「第23回全国高校選抜大会」女子ダブルスカル7位
「平成24年 全国高校総体ボート競技」女子ダブルスカル準々決勝進出

ト競技」女子ダブルスカル準々決勝進出

高橋 隼

「第66回国民体育大会」少年女子ダブルスカル6位

「第23回全国高校選抜大会」女子ダブルスカル7位

「平成24年 全国高校総体ボート競技」女子ダブルスカル準々決勝進出

國光真生

「平成22年 全国高校総体水泳競技」女子50m自由形出場

「平成23年 全国高校総体水泳競技」女子50m自由形出場

「平成24年 全国高校総体水泳競技」女子50m自由形出場

「平成22、23年 全国JOC夏季大会」50m女子自由形出場

「平成24年 全国JOC夏季大会」女子50m、100m、200m自由形出場

「第65回国民体育大会」少年女子400mリレー出場

同窓会専用電話・ファックス
TEL/FAX 053-456-0662
Eメールアドレス
hama24@shizuoka.email.ne.jp
 ※毎週水曜日午前9時～12時までは事務員の長尾さんが対応。それ以外はファックス・メール又は、留守番電話にメッセージを録音して下さい。

「平成26年度静岡県立浜松西高等学校・同中等部の入学者選抜」について(予定)

	中等部	高等部
募集定員	160名(4学級)	80名程度(2学級)
選抜資料	総合適性検査、作文、面接、調査書等	調査書、学力検査、面接、実技検査及び作文(実技検査及び作文については、「体育的活動」に関する裁量枠希望者のみ)
実施期日	平成26年1月11日(土)総合適性検査、作文	平成26年3月5日(水)学力検査、作文(作文については上記希望者のみ)
	平成26年1月12日(日)面接	平成26年3月6日(木)面接、実技検査(実技検査については上記希望者のみ)

*お知り合いの方々にお知らせください。

編集後記

◆会報編集をきっかけに初めて話す同級生。「自分は高校時代何をやってきたのだから？」今後このご縁を大切にしていきたいです。(M)

◆編集委員となったことで、初めて同窓会館に入りました！(Y)

◆途中参加でしたが、先輩方との編集楽しかったです。(A)

◆編集委員会とは名ばかり、まるでじゃれ道場です。(J)

◆笑いの絶えない空間で作業できて嬉しかったです。(T)

◆校正には集中力が要りましたが、楽しくできました。(C)

◆久しぶりのお手伝いは楽しく新鮮でした。(C)

◆長年の編集活動、いまだに校正作業は大の苦手です。(Y)

会報編集委員

- 同窓会副会長
編集委員長
編集副委員長
- 左右田丈夫 (中19回)
 - 近藤 哲哉 (高9回)
 - 野村 千明 (高38回)
 - 岩淵 千江 (高39回)
 - 大隅 康人 (高40回)
 - 山本 優美 (高40回)
 - 新野 正 (高45回)
 - 大石 諭 (高45回)
 - 村上 樹美 (高45回)
 - 落合 優 (高46回)
 - 小島 明子 (高46回)
 - 大隅 佐織 (高46回)
 - 夏目 知栄 (高46回)
 - 内山 夕輝 (高46回)
 - 杉浦 康仁 (高46回)